

検査ニュース

Vol. 4 No. 5

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、令和2年10月1日より併記するALP（IFCC）およびLD（IFCC）検査についてご案内致します。

佐賀県健康づくり財団
佐賀県健診・検査センター
専務理事 枝 國 源 一 郎

●検査項目の案内

◆ALP（アルカリホスファターゼ）

◆LD（乳酸デヒドロゲナーゼ）

（令和2年10月1日ご依頼分より）

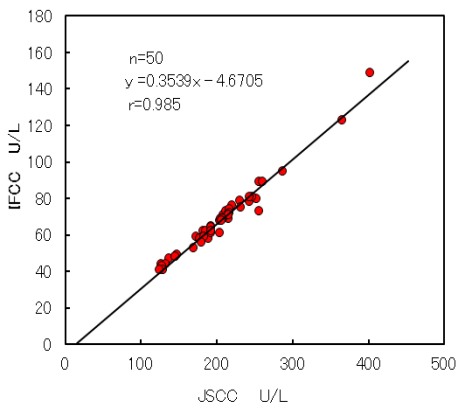
掲載頁	項目名		現行法	併記する方法
41	ALP	項目名称	ALP	ALP (IFCC)
		項目コード	10	102
		検査方法	JSCC標準化対応法	IFCC法
		基準値	106~322U/L	38~113U/L
41	LD	項目名称	LD	LD (IFCC)
		項目コード	11	103
		検査方法	JSCC標準化対応法	IFCC法
		基準値	124~222U/L	変更ありません

【注意点】

(1) ALP

現行法のJSCC法は小腸型ALPの反応性が高い試薬処方が採用されています。血液型がB、O型が分泌型の人（B、O型の約8割）では病気と無関係に血中に小腸型ALPが出現することから、JSCC法はその影響で臨床的意義が認められない高値が出現する場合があります。また、胎盤型ALPは小腸型とは逆にIFCC法に比べJSCC法では反応性が低いという特徴があります。

【関連図】



(社内検討データ)

IFCC 法では現行 JSCC 法の 1/3 程度の数値になります。

ALPについて「換算係数」は

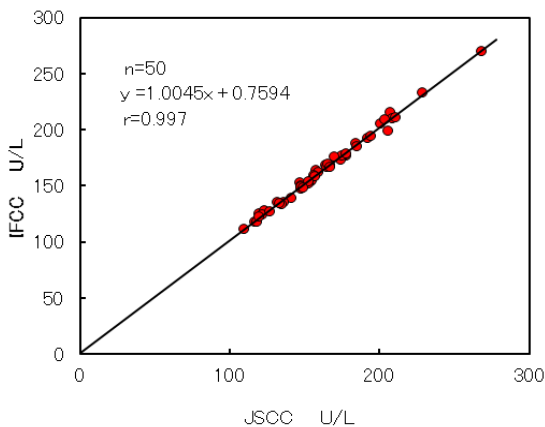
$$\text{ALP(JSCC)換算値} = \text{ALP(IFCC)実測値} \times 2.84$$

検査ニュース Vol.4 No.5

(2) LD

現行法の J S C C 法はアイソザイムの LD 5 が相対的に高く測定されます。これに対して、海外では I F C C の基準測定操作法の測定条件で LD 1 と LD 5 がほぼ同等に測定される方法 (I F C C 法) を用いています。そのため J S C C 法で測定している現在は、LD 5 の割合が高い症例で I F C C 法より高値傾向を示します。J S C C 法と I F C C 法の測定値の差が軽微であり、健常者の測定値は許容誤差範囲内の変化であることから 基準範囲の変更はありません。

【関連図】



(社内検討データ)

【併記期間】

令和2年10月～令和3年3月の6ヶ月間は、フリースペースに「IFCC法」を印字します。

【検査結果報告書の見方】

検査結果報告書【総合】

氏名	様	才 採取日	依頼書№
カルテNo.	保険区分	受付日	受付№
特記事項	病棟科名	報告日	セット名
		採取時間	食前後

検査項目	基準範囲及び単位	検査項目	基準範囲及び単位	検査項目	基準範囲及び単位
総ビリルビン	0.4~1.5 mg/dL	白血球数	3.3~8.6 10 ⁹ /μL	HBs抗原	(-)
直接ビリルビン	0.4以下 mg/dL	赤血球数	4.35~5.55 10 ¹² /μL	HBs抗体価	(-)
間接ビリルビン	0.1~0.8 mg/dL	血色素量	113.7~16.8 g/dL	炎症ウイ	HB e抗体価 1.0未満 S/CO
肝 総蛋白	6.6~8.1 g/dL	ヘマトクリット	40.7~56.1 %	HB c抗体価	50.0未満 %
アルブミン	4.1~5.1 g/dL	M C V	83.6~98.2 fL	HB c抗体価	1.00未満 S/CO
A / G 比	1.32~2.23	M C H	27.5~33.2 pg	HB c抗体価	1.00未満 S/CO
臓 AST(GOT)	13~30 U/L	M C H C	31.7~35.3 g/dL	S 判定	陰性
ALT(GPT)	10~62 U/L	血小板数	13.7~34.8 10 ⁹ /μL	自己抗体	ツチ子抗体(RF) 15.0以下 U/L
A L P	106~322 U/L	網状赤血球数	0.0~1.5 %	MMP-3	1.0未満 mg/L
LD(LDH)	124~222 U/L	血球形態		免疫	抗CCP抗体 4.5未満 U/L
		血好中球		疫	抗核抗体(IFA) 4.0倍未満
		リンパ球	27.0~46.0 %	ASO価	239以下 U/L
		血液		RPR(定性)	(-)
		好酸球	1.0~5.0 %	感染症関連	TPP抗体(CLIA) (-)
		好塩基球	0.0~1.0 %	高感(HI)	8倍未満
		異型少バ	0.0~1.0 %	チチチチチチ	6未満 U/L
		その他		チチチチチチ	4倍未満
		血球形態		チチチチチチ	4.0倍未満
		炎症		チチチチチチ	1.6倍未満
		CRP(定量)	0.00~0.14 mg/dL	A L B	55.8~66.1 %
		症CRP(定性)	(-)	α 1	2.9~4.9 %
		白血球		β 1	7.1~11.8 %
		中性好中球	(-)	β 2	4.7~7.2 %
		時間	10.5~13.5 秒	γ	11.1~18.8 %
		P 活性値	70~130 %	A/G比	1.3~1.9
		T 比率	0.85~1.15	A F P	10.0以下 ng/mL
		I N R		C E A	5.0以下 ng/mL
		凝 A P T T	28.0~38.0 秒	CA19-9	3.7以下 U/L
		固 フibrinゲン	150~350 mg/dL	D G A	100以下 U/L
		トロンボテスト	70以上 %		
		Dダイマ	1.0以下 mg/dL		

「現行法」
2021年3月31日まで
印字します

項目名	検査結果	基準範囲及び単位
ALP (IFCC)		38~113 U/L
LD (IFCC)		124~222 U/L

「IFCC法」
フリースペースに印字します。
(2021年3月31日まで)

※変更後の測定値についての詳細は日本臨床化学会のHP (<http://jsc-jp.gr.jp/>) にて案内が行われています。

第33回(令和2年度)佐賀県医師会臨床検査精度管理調査

今年度の標記調査につきましては、下記の日程で実施しますので、積極的なご参加をお願い致します。

試料配布日：10月14日(水)

調査締切日：10月31日(土)

